いわて未来研会報

NPO 法人いわて未来政策・政経研究会会報　第 40 号(R2. 4. 30)

ご挨拶

会長　相原　正明

（ 千田監事、葛西監事と監査を終えて）

いつの間にか花々に囲まれながら、希望に満ちた新年度を迎えるはずでしたが、突如出現した新型コロナウイルス感染拡大に世は一変しました。

いわて未来研としては、皆様のご支援ご協力により、10 年度目にあたる令和元年度の事業を滞りなく終え、決算も 200 万円を超える正味財産を維持するなど新年度に向け勢いをつけていたところでした。目玉である十周年記念式典・記念講演会等の記念事業に向けて早々と準備をスタートさせていました。

しかし、全国的な新型コロナウイルス対策の一環として、大変残念ながら行事の延期など変更を余儀なくされました。

それでも年 4 回の会報発行ペースを堅持し、この問題の収束を見極めながら、充実の事業展開軌道に戻していく決意を新たにしています。

会員の皆様のこれまでにも増したご指導ご支援をお願いいたします。

いわて未来研

〒023-1131 岩手県奥州市江刺愛宕字橋本 119 番地
TEL 0197-35-2134　E-mail miraiken@pon.waiwai-net.ne.jp
FAX 0197-35-2134　URL http://iwate-miraiken.sakura.ne.jp

意見交換会開催

令和 2 年 2 月 29 日(土)に奥州市の水沢地区センターにおいて、総務省岩手行政監視行政相談センター所長原田秀一氏との意見交換会が開催され、25 名が参加しました。

まず原田所長から、「総務省の行政相談制度～地方センターの現場(きくみみ岩手)から～」と題して、豊富な資料を用いた説明があり、その後意見交換に入りました。

会場参加者から、看板標識などの改善要望はどこにすれば良いかなどの質問がいくつか出され、原田所長は身振りを交えながら丁寧に答えていました。

新型コロナウイルス感染予防対策として、受付に消毒液を置き、基本的に全員がマスクをしながら、熱く意見交換したところです。

お知らせ

お願いなど

会の発展のため、加入促進方を宜しくお願いいたします。

R2.4.30 現在会員数

個人正会員(年会費 2 千円)　166 名

個人賛助会員(年会費 1 千円)　63 名

団体正会員(年会費 2 万円)25 法人・事務所

団体賛助会員(年会費 1 万円)2 法人

合計　256 名・法人

ご寄附御礼

前回会報(第 39 号)で報告した以降の状況。金額 27 千円(R 元年度寄附の累計 39 千円)

―寄附者ご芳名―

佐藤　信治　様 (10)
神田　健幸　様 (8)
千田　幸雄　様 (5)
佐藤　啓子　様 (2)
星野　義雄　様 (1)
佐藤　千幸　様 (1)

( )内は金額(千円)

ご提言・ご意見募集

❋　第 8 回目となる行政機関、政党等への政策提言活動を次により、実施します。

①4 月及び 7 月の会報で会員に呼びかけ、意見等募集→②10 月の会報で中間報告→③11 月の理事会で提言内容と活動手順を確認し、マスコミ発表→④12 月～2 月に訪問や文書による提言行動

❋　この会報に同封した用紙または適宜の方法により、是非お声をお寄下さい。

会の財政を支える会費につきまして、多大のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

会費納入のお願い

感謝

未納の会員におかれましては、何とぞよろしくお願いいたします。

編　集　後　記

あの金八先生が「人」という字は、人と人とが支え合ってできていると言った話が有名となり、それを否定する説も出されました。ともあれ人は人とつながり、支え合って生きていくものです。ところが今や新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために、それがある部分制限された観があります。14 世紀に世界的に大流行したペスト、1918～19 年に全世界を襲ったスペイン風邪などに匹敵する災厄を退散させるための踏ん張りどころかもしれません。先進各国では感染抑止と共に治療薬とワクチンの猛スピード開発に動いているようです。人類の叡智を集め、この難局を早期に乗り切りたいと念願しています。頑張りましょう。(相原)